

第 56 期中央労働講座

全港湾九州地方関門支部執行委員

田中 啓貴

2025 年 6 月 12 日～14 日、豊橋シーパレスにて第 56 期中央労働講座に参加してきました。全国の地方から支部書記長や執行委員 28 名、中央本部から 5 名来賓として全国港湾より玉田書記長、総勢 34 名で行われました。

1 日目には第 1 講座「全港湾の歴史について」鈴木誠一委員長に講師をしてもらいました。講義の内容を元に 4 班に分かれてグループ討論をおこない長い歴史の中で求められているものはあまり変わっておらず受け継がれている中で組合員全員にどの様に伝えていくかが課題というまとめをしました。2 日目には第 2 講座「産別協定と事前協議制度」について全国港湾の玉田書記長に講師をしてもらい港湾の秩序を守るために大事なものだとして改めて認識しました。グループ討論では労働条件の内容をしっかりと確認をし、お金だけで解決出来ることではないという話や事前協議の事例があればそれを元に組合員に説明していこうという話をしました。第 3 講座では鈴木龍一副委員長から「組合強化、役員、組織運営」について話してもらいました。グループ討論では幹部育成の必要性、労働組合とは組合員全員が中心であり主役。リーダーの理念や役割などを議論しました。3 日目は全体の議題についてグループ討論をしました。今回の労働講座の参加対象である書記長や書記長クラスの方々との横の繋がりができこれから少しずつ学んでいきたいと思いました。第 56 期中央労働講座に参加させていただきありがとうございました。